

## 元年度研究助成者を決定

### 矢崎財団国際交流援助なども選定

矢崎科学技術振興記念財団（細川興一理事長）は、令和元年度の研究助成受領者14人と国際交流援助受領者13

人、矢崎科学賞受領者2人を決定した。同財団は、1983年から科学技術の発展を目的に研究助成を行

っており、元年度も独創的で科学技術の進歩に大きな貢献が期待される研究を対象に選考を行った。

研究助成は、新材料・エネルギー・情報の3分野を対象領域とし、一般・奨励・特定の3研究助成を行って

いる。国際交流支援は、国際学会の研究発表や共同研究に関する渡航費を援助。矢崎学術賞は、過去助成を受けた研究の中から優れた業績をあげた研究者に贈られる。

国際交流支援は、国際学会の研究発表や共同研究に関する渡航費を援助。矢崎学術賞は、過去助成を受けた研究の中から優れた業績をあげた研究者に贈られる。

研究助成は、新材料・エネルギー・情報の3分野を対象領域とし、一般・奨励・特定の3研究助成を行って

国際交流支援は、国際学会の研究発表や共同研究に関する渡航費を援助。矢崎学術賞は、過去助成を受けた研究の中から優れた業績をあげた研究者に贈られる。

一般研究助成は79件の応募に対し7件を選定。助成金200万円が贈られる。奨励研究助成は原則35歳以下の若手研究者に100万円を助成するもので、応募44件の中から7件が選ばれた。特定研究助成は財団指定テーマの研究に対し1000万円を贈るもので、10件が応募したが今回は該当がなかった。

国際交流援助は20件が応募し13人に決定した。矢崎学術賞は、功績賞が東北大学金属材料研究所の水口将輝准教授、奨励賞は京都大学大学院工学研究科の坂本良太准教授に決定した。応募は11件だった。